

# 中国（上海）ビジネスサポート

## Monthly China News

\* 毎月 1 回、定期的に中国より配信致します。

気温 40℃が当たり前の 8 月。中国ではお盆休みもなく、暑さで頭もぼんやりしながらの毎日でしたが、日本の各地での夏祭りや花火大会復活のニュースを嬉しく見ていました。ようやく 30℃にまで気温が下がり、少し過ごしやすくなりましたが、今度は中秋節に向けて月餅商戦がスタート。家族で食べる月餅の為に、人々の想いは過熱気味です。では、今月のレポートをお届けいたします。

### 【政治・経済】

- ・ 国家統計局 7 月の主要経済指標（消費・生産・投資）を発表；7 月の消費は前年比 2.7%となり 6 月（同 3.9%）から減速。7 月の生産は前年比 3.8%となり 6 月（同 3.9%）から減速。1-7 月の固定資産投資は前年比 5.7%となり 1-6 月（同 6.1%）から減速した。（8/15 国家統計局主要経済指標）
- ・ 李克強国務院総理；国務院常務会議を主宰、各分野での支援強化策を発表；①的を絞った金融政策による支援、②民生保障の更なる強化、③養老・保育サービス業への支援、④消費の拡大等についての政策を決定した。（8/19 人民日報）  
また継続して、国務院常務会議にて、経済支援策及び干ばつ対策を追加発表。金融政策、財政政策、インフラ、不動産政策、企業支援、エネルギー・食糧供給保障等、6 分野 33 項目の経済支援策を発表した。（8/26 人民日報）
- ・ 中国企業が米国市場から自主的に上場廃止；12 日の取引時間終了後、中国人寿保険、中国石油化工（シノペック）、中国石油天然ガス（ペトロ チャイナ）、中国アルミ、上海石油化工の国有企業 5 社は、自主的にニューヨーク証券取引所における米国預託証券の上場廃止申請を行ったと発表。（8/13 中国経済網）
- ・ 四川省、重慶市等の西南部で高温により電力需給が逼迫；四川省経済・情報化庁は、家庭用電力の確保と電力供給制限の回避のためとして、工業用電力を使用する企業に対し、15 日から 20 日 24 時まで生産を停止するよう指示。（8/15 財経新聞）重慶市では更に 40℃超の連続高温、山火事、市内でのコロナウイルス蔓延が生じ、8 月半ばから下旬にかけては四重苦となっている。

### 【製造業関連・関連の政策等】

- ・ 中国工程機械工業協会の今年 1-7 月に会員企業 26 社が販売した各種掘削機械製品の販売台数は前年同期比 33.2%減の計 16 万 1,033 台。うち、国内向けは同 51.3%減の 100,374 台、輸出は同 72.3%増の 60,659 台。7 月単月では、販売台数は同 3.4%増、うち国内向けは同 24.9%減で、輸出は同 72.8%増。なお、コマツが 7 月 20 日に発表したデータでは、6 月の中国でのコマツショベルの稼働時間は、前年同月比 13.1%減の 95.2 時間で、過去 6 年間で最低だった。（8/10 中国機械工業連合会）
- ・ 今年上半期、中国のリチウムイオン電池産業の主要指標は高成長を達成。業界推計で、上半期のリチウムイオン電池生産量は前年同期比 150%増の 280GWh 超、業界全体の売上高は 4,800 億人民元を超え、リチウムイオン電池製品の輸出は前年同期比 75%増となった。上半期の電力貯蔵用電池の生産量は 32GWh に達し、新エネルギー車用パワー電池の搭載量は約 110GWh となった。（8/11 人民日報）
- ・ 中国は今年 7 月末までに、合計 196 万 8,000 か所の 5G 基地局を建設・開設し、すべての地級市都市、県城と 96%の郷鎮（\*町村規模）で 5G ネットワークのカバーを達成したと報道。5G 携帯電話の利用

者は2021年末比で1億2,000万人純増の4億7,500万人に達し、世界最大の5Gネットワークとなった。(8/20 工業情報化部・人民日報)

- 今年のレアアースの採掘枠を前年比 25%増の21万トンにする。2021年の前年比 20%増よりも更に高い伸び率となった。(8/19 工業情報化部・自然資源部・中国銀河証券)

レアアースは機能材料として新エネ業界でも需要が高く、実用面では車中国初のレアアース永久磁石磁気浮上鉄道交通プロジェクト試験ライン「紅軌」が、江西省興国県で正式に竣工(8/9 人民日報)するなど、新方式の鉄道交通システムにも中国では積極的に使用されている。

## 【中国・健康産業】

中国政府が第14次五か年計画中に推し進める基幹産業の一つに、医療健康領域がある。



参考1 \* 健康中国 2030 规划綱要より

9年前から進められている『一帯一路』政策にも、実は「健康」が入っており、これまでに84ヶ国と科学技術協力関係を構築、1118件の共同研究プロジェクトを支援、農業、新エネルギー、衛生、健康などの分野で53ヶ所の共同実験室の建設を開始したと外交部も言及している。(8/18 外交部汪文斌報道官) また、7月に北京で開催された「北京人権フォーラム 2022」(7/26 新華社) 中国人民大学重慶金融研究院シニア・フェローのジョン・ロス氏は、「中国の人権理念は実際の効果を重視しており、絶対的貧困の撲滅、女性の権利の保障、新型コロナウイルスの感染が拡大する中での人々の生命・健康権の保障などの面で顕著な成果を挙げたと言及。コ

ロナを経験し一層高まる中国での健康意識。人口の多さからなかなか手が届かなかった健康、生命維持、その周辺を取り巻く産業にいよいよ注目が集まっている。

### ◆中国での「健康養老産業」の概念

中国でいうところの「健康養老産業」とは、養老+旅行+不動産(居住環境)+医養+農業を組み合わせた、複合型産業を指す。このシルバー産業の2030年の市場規模は20兆元、GDPの8%前後を見込んでおり、これまでの成長実績を見ても、緩やかに確実に成長している。(参考1)

### ◆急ピッチで進められる総合病院内システム化

中国での大型総合病院は甲乙丙で大分類され、更に各分類に1~3等級までに分けられる。所謂大型総合病院は甲3級。ベッド数501床以上、国家衛生局審査で1,000点満点中900点を超える病院が相当する。現在全国で甲3級総合病院は3,275か所(\*2021年国家衛生局統計調べ)。患者の外来受付、受診予約等、全て携帯電話での一元システム管理を導入。これらに続き、病院内のカルテ管理、薬の分配自動化、医師の補助ロボット等、その自動化の範囲は広い。





8月20日には、甘肅省人民病院の蔡輝院長（教授）のチームと情報技術のサポートチームが、5G 情報技術がもつ低遅延、広帯域、多数同時接続の優位性を利用して、ロボットによる野外遠隔手術のデモンストレーションを実施。新型コロナウイルス感染症対策の常態化（ゼロコロナ対策継続）という要求の下での、救急支援と難病の手術・診療の新たなソリューションを提供できると期待されている。

#### ◆予防の概念

中国では病気に対しての「予防」の概念が非常に低かった。冷たいものを飲まない、食べ合わせのような民間療法的な食事療法、ツボや鍼灸・呼吸法のような健康法はあるが、忙しい現代人にはなかなか浸透していない。死亡理由でトップのガンの判断基準も、日本でいう0レベルの概念はなく、1レベルから4段階。1レベルでは既に発病していることになる。この予防の為の、「ストレス回避」「健康補助食品」「居住環境」他、日々口にするものへの意識も高まり、都市部では値段は高くても良いものをとの健康志向派も増え、「無糖」「コレステロールフリー」「無添加」への意識も高まっている。

### 【トピックス】

#### 1：中国・引き続き中ロ両国の正常な貿易往来を促進

現在、中ロ二国間貿易は引き続き増加傾向を保っている。中国側の統計によれば、今年1-7月の中ロ貿易額は前年同期比29.2%増の6336億3千萬元（1元は約20.0円）に達し、同期の中国対外貿易全体の成長率10.4%を大幅に上回った。そのうち中国のロシアからの輸入額は同49.2%増の3985億7千萬元で、ロシアへの輸出額を1600億元余り上回った。商務部の束珏婷報道官は「中国は引き続きロシアとともに、両国の正常な貿易往来を促進し、産業チェーン・サプライチェーンの安定を維持し、デジタル経済、グリーン発展、バイオ医薬などの新たな成長源を育成し、中ロ経済貿易関係の規模と質の『ダブル上昇』を推進する」と述べた。（8/27 人民網）

#### 2：各地で40℃超の猛暑日。四川省・重慶市での電力不足が深刻に

7月から8月にかけて、四川省、重慶市等の西南部で高温により電力需給が逼迫。冷房用電力需要の急増により、四川電力の7月の電力販売量は、前年同月比19.79%増の290億8,700万キロワット時で、単月として最高記録を更新した。四川省政府と国家电网四川は、家庭用電力確保と電力供給制限を行わないために、省内21市のうち19市(州)の工業用電力を使用する企業に対し、15~20日の間、生産を全面停止するよう指示。続いて8月16日に重慶市も緊急通知を発表。全市の電力負荷が上昇を続けており、発電ユニットが能力の限界に達しているとして、家庭用電力確保のため、17日から24日まで工業企業の電力制限を行うとした。重慶市气象台は、8月23日まで極度に高温の天気が続き、ほとんどの地域で最高気温が37~41℃、局地的に42~44℃となると予測している。全国的な異常気象の影響で、内陸部だけではなく8月上旬から安徽省、浙江省、江蘇省でも節電の呼びかけが始まっており、生産稼働時間や電力使用ピーク時の調整を実施している。

#### 3：9月にも継続・中国ゼロコロナ対策

数千人規模の蔓延は、上海や深センで封じ込めに成功したが、各地での中国のゼロコロナ対策は、まだまだ継続中である。いまだに一人陽性者が出来れば、密接者、その密接者までが追跡される。夏休みという事もあり、旅行先で人気の海南島やチベット自治区では数百人単位で発生。旅行先でそのままロックダウンという事態が8月に起きた。現在も、四川省成都、重慶、深セン、上海でも部分封鎖が継続中。市民は3日に1度のPCR、サービス業従業員は24時間に1度のPCRが義務付けられている。社

会の正常化の目安として、学校の授業開始に注目が集まっているが、学生に24時間PCRを義務付け9月1日からの開校が予定されている。

#### 4：各地で大型スマート産業博覧会開催

ゼロコロナ対策が各地で継続される中、大規模な展示会が開催されるようになってきた。

18日から4日間北京にて開催された世界ロボット大会では、5万人が来場。会場での成約高は72億元に上った。(8/15 工業情報化部・上海証券報) 続いて、22日、中国国際スマート産業博覧会2022が重慶市で開幕。中国内外から500社を超える企業がオンラインまたはオフラインで出展(8/15 人民網)しており、延期や中止が余儀なくされていた多くの展示会も、コロナ対策の常態化意識が人々にも浸透してきたことやPCR検査や間隔を置く等の人の導線調節も標準化されてきたことも手伝い、今後の大型展示会開催への期待が高まる。

#### 5：武漢・完全無人の自動運転タクシー運行開始

百度(Baidu)は、重慶市と湖北省武漢市で、完全無人の自動運転タクシー(Robotaxi)を公道で運行する許可を得たと発表。車内に安全運行者を配置せず、乗客のみを乗せた自動運転車の公道での商業運営は国内初となる。武漢市経済技術開発区と重慶市永川区の特定区域にて、自動運転ソフトウェアプラットフォーム「Apollo」を搭載した車両を各5台投入、午前9時から午後5時まで運行。初乗り料金は16円で、1kmごとに2.8元加算される。(8/9 澎湃新聞、8/10 中国経済網、8/10 人民網)

#### 【注目エリア・重慶長寿開発区\*化学・新素材特化園區】

中国中西部に位置する内陸部唯一の直轄市・重慶。1997年に直轄市に格上げ後、急速に発展が進んでいる。人口はなんと3,000万人超。巨大上海よりも多い。そしてGDP(2021年)は27,894億元、前年比は8.3%と上海(2021年43,214億元、前年比GDP成長率8.1%)をこちらも超えている。

主力産業は自動車、電子機器。近年は液晶パネル、半導体、産業用ロボット、新エネ車等を新興産業と位置付け、政府主導で産業発展を奨励している。重慶の進出日系企業ではいすゞ自動車、ヤマハ発動機、ホンダ、スズキ、デンソー、川崎重工、パナソニック等、160社。(22年2月付・重慶総領事館調べ)その重慶に、化学・新素材新材料に特化した園區「長寿開発区」がある。

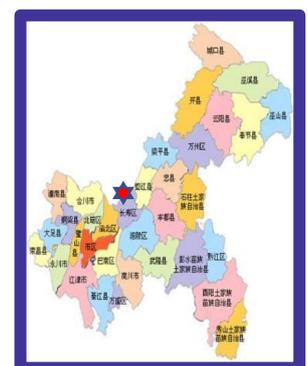


#### ◆アクセス

市内中心部から車で約1時間。江北空港からは約45分。高速鉄道駅もあり、他中西部エリアへの移動も比較的容易。また園區内に長寿港があり、貨物出荷にも便利。

#### ◆長寿国家技術開発区

2003年に開発された化学系・新材料系の経済開発区。2010年に国家技術開発区に昇格。天然ガス新材料集積では中国国内で先駆的存在。またフッ素、水素に係わる世界新エネ材料企業が徐々に中西部地域に進出、中西部地域のエネルギー政策と共に世界各国の企業も注目している。管理面積99.5km<sup>2</sup>、42km<sup>2</sup>を開発済みで、現在はBASF(ドイツ)中国化学グループ、CPIC、Sinopec Sw、SEMCORP LG化学等が集積。重慶大学の化学系専門学院、重慶化工学院もこの長寿区にある。



#### ◆長寿開發区日系企業・重慶武蔵塗料有限公司



1958年創業。鉛筆の塗料からスタートし、一般の人が手に取る製品のため、安心安全な塗料生産を続けてきた。今では車載スイッチ、ボタン、車載用モニター、電気製品の外装、操作ボタン、PCやカメラ等、私達の身近な所にまで武蔵塗料の技術が生きている。

武蔵塗料は江蘇省を中心に沿海部にも既に3拠点がある。重慶には営業・開発部隊を持たない沿海部製造拠点の支援製造拠点として2020年に工場を構えた。沿海部は環境規制が厳しく、またゼロコロナ対策で生産計画が狂うこともしばしば。安定供給と今後の中国の緊急時対応策として、コロナの影響が最も少なかった重慶を選んだ。「違うもの、違う業界への挑戦は今後やっていかなければならない。拘りを捨て、全く違う業界、全く違う世界の人と対話し、頭を柔らかくしていかなければ、中国では生き残れない。品質を保ちながら、価格競争に勝つのは非常に難しいが、将来は中国系のお客様を増やしたい。中国中西部地域には、人は難しいと思う中国でも、非常に可能性がある」と実感する（8/3 FNA 訪問インタビュー）

### 【イベントセミナー】

1：FBC 広東 延期 会期末定

2：FBC 上海 PTC 11月1日～4日

会場：上海新国際博覧中心（※2）

3：河南省鄭州 11月22日～23日（延期）

会場：鄭州中原龍子湖学术交流センター（※1、

参加資格審査あり）

4：FBC 上海 12月15日～16日（延期）

会場：上海マート（※2）

\*（公財）大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。関西広域連合域内の企業は大阪産業局上海代表処を通じて申込みいただくと、（※1）は参加費・出展料無料、（※2）は特別出展割引が適用されます。

~~~~~  
9月10日～12日は中秋節。中国では十五夜当日の月よりも、翌日の方がまん丸に見える（十六圓）と言われています。今年は良く見えるでしょうか。季節の変わり目、皆様お元気で過ごして下さい。

大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート  
ファクトリーネットワークチャイナ （工場網信息科技有限公司）

上海市長寧区延安西路2201号 上海国際貿易中心2階268室